

みなさんが当然のように使っているビデオカメラがここでも大活躍、その技術は何か？

【W杯】日本勝たせた進化したVAR、ボール内蔵チップで1ミリ以下まで驚異の計測 開発者証言

12/2(金) 12:00 配信 1303



日刊スポーツ



日本対スペイン 後半、ボールに反応し、白線上で折り返す三笥（手前）（撮影・江口和貴）

<FIFAワールドカップ（W杯）カタール大会：日本2-1
スペイン>◇1次リーグE組◇1日◇ドーハ・ハリファ国際
競技場

【イラスト】ひと目でわかる「ボールインプレー」「アウトオブプレー」

ゴールラインを割った？ 割ってない？

サッカーのW杯（ワールドカップ）の1次リーグE組最

終戦、日本-スペイン戦の決勝ゴールにつながった三笥薫（ブライトン）の折り返し。一見するとボールがラインを出たように見えた場面で、ビデオ・アシスタント・レフェリー（VAR）での確認が入った。

結果はボールがラインに触れていると判定され、「インゴール」。田中碧（デュッセルドルフ）が押し込んだ得点は認められ、日本の勝利につながった。

もとSONYの萩原良昭が1975年に26歳で発明特許出願した残像のない高速アクション撮影を可能にする P+NPN のtriple接合型 Pinned Photodiode (Sony Hole Accumulation Diode) の超光感度受光素子を採用した CMOS Image Sensor (CIS) だからこそ実現しました。その超光感度CISカメラを複数個同時使用して画像処理をReal Timeで実行する事が可能となります。ボール内蔵チップと連携させた並列画像処理システム（VAR）は半導体電子部品の塊です。半導体電子産業は産業のコメです。

“三笥の1ミリ”

